



武藤淳一さん

RS125Rなどのオフ車も作っていますが、その車両ではきつちりきれいな溶接痕なんです。それで思ったのは、「このマフラーの無骨な溶接痕はわざとじゃないか？」ということですね。全体のスタイルに合わせているのかもしれない、と思っただけなんです。もちろんこれは僕が思っただけなので本国イタリアに確認したわけでは無いんですけど(笑)。とにかくこのSWMというメーカーの車両は、知れば知るほど面白いバイクなんですよ。

「ヨーロッパの文化と共に  
純粋に『楽しむ』モデル」

「例えば先に言った、溶接痕の話なんですけど、車両によって溶接痕が違うんですよ。日本だとこういうことはあってはならないことですよ。でもヨーロッパではわりと普通なことなんです。日本では工場出荷時に100%の状態が出さなければクレームになる。けれどヨーロッパだと70〜80%の状態で工場から出荷することがほとんどなんです。それは街のチューニングショップが、お客さんと会話をし、お客さんの求めるところを見つけていくからなんです。100%に近い状態に「作り上げていく文化」だからなんです。」



武藤淳一さん

「ただ売っただけなのは簡単ですよ。うちでは、納車してからがお客さんとスタートだと思ってるんです。徐々に自分のものにしていくのがいいんじゃないかな。」

シングル空冷エンジンの  
良さをさらに引き出す  
専用オイル

シングルエンジンの共通の特徴として、アクセルを急に開けた時に一瞬ついでにこたえがよくなります。それが、このオイルを入れることでレーサーのようにレスポンスがよくなる！また低回転から高回転まで対応するので、街中でも高速道路でもその性能がわかるんです。SWMのエンジンに合わせて現在開発中！



SWM GRAN TURISMO 400/440

グランミラノとシルバーベースのちょうど間の子というポジションのグランツーリスモ。カフェレーサー風のスタイルとスクランプラー風のスタイルを見事に融合させた、どこか懐かしさを覚えるデザインです。マフラーは左右2本出し

●価格：¥684,720(税込)  
●排気量：397.2[445.3]cc  
●全長×全幅×全高：2,128×769×1,098mm  
●シート高：808mm  
●乾燥重量：151kg  
●燃料タンク容量：22.5L  
※[ ]内は440ccモデル



SWM SILVER VASE 400/440

ゴツくて大きなバイクが好き女性にオススメ。「ステップが少し前にあるので、グランミラノのステップをうまく流用すれば、ステップ位置が少し後ろになり、足がスムーズに下りやすくなりますし、アイデアは色々ありますよ！」とのこと

●価格：¥669,600(税込)  
●排気量：397.2[445.3]cc  
●全長×全幅×全高：2,142×813×1,170mm  
●シート高：820mm  
●乾燥重量：153kg  
●燃料タンク容量：22.5L  
※[ ]内は440ccモデル



こちらも  
クラシック  
シリーズ



ヨーロッパの文化とともに楽しみたい  
知れば知るほどオモシロイSWM

SWMというイタリアのモーターサイクルメーカー。そのラインナップの中からクラシックシリーズにクローズアップして、販売店であるBEAR世田谷店さんにその魅力をお聞きしてきました。

PHOTO & TEXT / GirlsBiker

SWM  
取り扱いSHOP



クッキー

BEAR世田谷 (ベアセタガヤ)  
住所：東京都世田谷区世田谷2-10-11  
TEL：03-3429-8181  
営業時間：10:00~20:00  
定休日：月曜日  
http://www.bear-s.com

「SWMのバイクは、知れば知るほど面白いんです」  
BEAR世田谷さんは、レーシングカートのチューニングショップを経て、今ではヨーロッパを中心とした、国内外様々なバイクを扱っているショップ。社長の武藤淳一さんと息子さんの武藤桂さんに、SWMの魅力についてたっぷりお聞きしました。  
「ネクストクラシック、スタイルがやはり魅力的だと思います。あ、うちで勝手に名づけたんですけど(笑)。このネクストクラシックというものは、「おもしろそうなおバイクがある！」と2017年からSWMの取り扱いを始めたショップ、BEAR世田谷さんにお邪魔してきました！  
さてそんなイタリアで生まれたSWMは、Speedy Working Motorsの頭文字を取って、元はレースに勝つためのマシンを作っていました。1971年に創業されたSWMは、一度そのブランドを消滅させてしまいましたが、昨年2016年にMVアグスタジャパンが日本での取り扱いを開始し、めでたく復活したわけですね。  
今回は「おもしろそうなおバイクがある！」と2017年からSWMの取り扱いを始めたショップ、BEAR世田谷さんにお邪魔してきました！  
「SWMのバイクは、知れば知るほど面白いんです」  
BEAR世田谷さんは、レーシングカートのチューニングショップを経て、今ではヨーロッパを中心とした、国内外様々なバイクを扱っているショップ。社長の武藤淳一さんと息子さんの武藤桂さんに、SWMの魅力についてたっぷりお聞きしました。  
「ネクストクラシック、スタイルがやはり魅力的だと思います。あ、うちで勝手に名づけたんですけど(笑)。このネクストクラシックというものは、「おもしろそうなおバイクがある！」と2017年からSWMの取り扱いを始めたショップ、BEAR世田谷さんにお邪魔してきました！

BEAR世田谷オススメNO.1!

SWM GRAN MILANO 400/440



●価格：¥699,840(税込) ●エンジン：空冷OHC4バルブ単気筒 ●排気量：397.2[445.3]cc ●全長×全幅×全高：2,082×724×1,110mm ●シート高：813mm ●乾燥重量：147kg ●燃料タンク容量：22.5L  
※[ ]内は440ccモデル

BEAR世田谷さんが女性にオススメするのはグランミラノ400。間けば、ポジションが狭く(コンパクト)、カフェレーサーなのにオフステップに座るような感覚のステップ位置なんだそう。ヨーロッパでは都市と都市が離れていて、大移動することが多いから疲れないようにかも？ とのことでした。ちなみにこのポジションだからこそ、フロントが太いタイヤでも自然に腰が曲がることのでき、コーナリングもしやすいそう。「ステップ高め、座った感じがしっくりくると思います。」  
また、グランミラノ用のオリジナルハンドルキットも開発中で、少し高さを上げ、少し手前にするのができ、さらに垂れ角も調整できるので自分好みのポジションに合わせられるそうです。こちらは現在開発中

「古いんだけど新しい形」ということを表しています。今流行の「ネオクラシック」という、古い見た目だけれども中身は新しい」というものとは分けて考えています。グランミラノがネクストクラシック、シルバーベースがネオクラシックという感じかな？  
実は僕が、昔から「新しいバイクでクラシックスタイルを作る」というカスラムをやっていたのが、このグランミラノとそっくりで。僕の思い描いて提案してきたスタイルにすごく近くて。これはいいなと思ったのが始まりですね。」

「それに太陽の下と日陰では色が違って見えるんです。こういったポイント方法はヨーロッパらしいなと思います。またタンクやフェンダーやシートカウルなどが鉄でできているんですよ。今ほどのバイクも「軽くなければいけない」からアルミや樹脂を使うのがほとんどですが、鉄ならではのマットの質感が引き出せているのもさすがだと。細かいところを挙げるとキリがないんですが、例えばマフラーの溶接痕を見てください。SWMはSM/シンと同じ方向性なんだそう。カスラムで作りあげなくても、純正でのスタイルということに興味を持たれたそつです。」